



ふじさわ体協

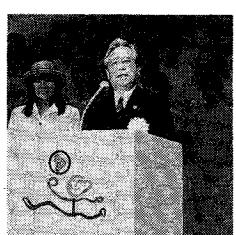
「藤沢市体育協会広報」第40号

平成10年12月20日
藤沢市体育協会
〒251-0026
藤沢市鶴沼東8-2
秩父宮記念体育館内

かながわ・ゆめ国体を終えて

かながわ・ゆめ国体藤沢市実行委員会

会長 山本捷雄



はじめに、第五十三回国民体育大會が成功裡に終了することが出来ましたことは、藤沢市体育協会をはじめとする関係諸団体、ボランティア

、市民の皆様の絶大なるご支援、ご尽力のたまものと、ここに深く感謝申し上げます。

開催希望競技の選択や大会運営組織の確立、各種競技施設の整備計画など、開催会場地としての基本的な素案づくりから始まった本市の国体開催準備は、開始以来約七年の歳月が費やされました。

この間、体育協会をはじめ多くの関係者の皆様のご努力が積み重ねられ、多方面にわたる準備が進んだわけですが、平成七年に「かながわ・ゆめ国体藤沢市実行委員会」が設立されて、本格的な組織体制、推進体制がいよいよ整ったといえます。平成八年に市長に就任した私は、この実行委員会の会長としての職務も担当したわけですが、会のメンバー構成が、本市の各界、各分野の方々をもれなく網羅しており、その規模や

パワーの大きさに、大変驚いたことをおぼえています。

その後もこの委員会が、国体という華やかなステージを通じ、藤沢市民の持つエネルギーを全国に発信する母体となりながら、大会本番の年を迎えることとなりました。そして

本市での4競技においても、先催国体では見られなかった、創意工夫が随所に發揮され、盛り上がりのある大会となつたわけです。

本大会前の最大のイベントであり、市民運動の展開という面からも大変意義深い試みであった。「炬火リレー」では、湘南海岸というその舞台にふさわしい採火式、出発式が行われ、一般公募の一五〇名のリレーランナーによる「かながわ・ゆめの火」の引き継ぎも順調に終了しました。

盛り上げる様々な取り組みが精力的に展開され、スポーツと文化のまち「藤沢」の個性が遺憾なく發揮され、全国から訪れた選手団にも大きな感動を与えることができたのではない

かと自負しております。

また、ヨット競技において観覧船が用意され、市民の皆様が直接、海上での競技や江の島の景観を楽しんだことも印象的でしたし、バレーボール競技では、戦前からの本市のバレーボール競技の歴史資料が展示され、参加された役員、選手の皆様に新たな発見と深い感銘を与えることができたものと思っています。

このように、競技関係者、市民、行政の三つのパワーが一体となり、かながわ・ゆめ国体は成功をおさめることができました。

国体が私たちに残してくれた新たな発見や感動、様々な思い出や貴重な経験を大きな糧としながら、今後の藤沢のスポーツ振興にあたっていくことをお誓いするとともに、本市スポーツ界の中心である藤沢市体育協会のますますの躍進を願つてやみません。

◆◆◆◆◆

藤沢市における

国体総参加者数

七万五千四十一名

藤沢市の優勝選手

競技	種別	選手名	勤務先・学校名
テニス	少年男子	金中育人	湘南工科大附属高校3年
バーボール	成年男子2部9人制	山本哲洋	湘南工科大附属高校2年
バーボール	成年女子2部9人制	神植豊幸	日本精工(藤沢市)
体操	成年男子	鈴木ひとみ	藤沢市在住
レスリング	少年男子83kg級	五十嵐裕子	藤沢市在住
軟式野球	成年2部	佐藤宏典	湘南工科大附属高校勤務
ソフトボール	少年女子	本多尚基	日大藤沢高校3年
山岳	少年女子 縦走・踏査	長尾公浩	湘南信用金庫藤沢
		山口彩	藤沢市在住
		松崎香織	湘南工科大附属高校2年
		尾崎千香	湘南工科大附属高校1年



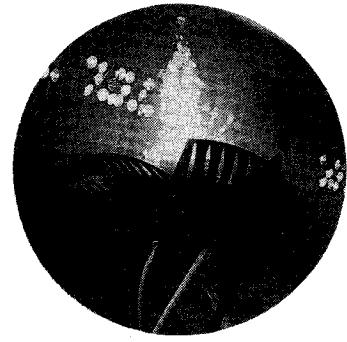
) →



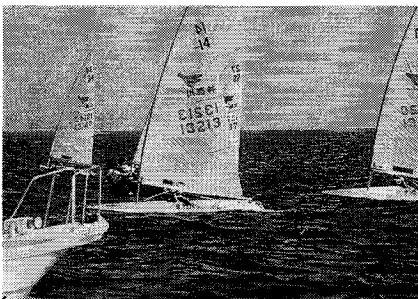
県庁へ県下の炬火が集合
山下泰裕氏



横浜国際競技場
炬火ランナー
原辰徳氏を先頭に



点火された炬火



少年男子シーホッパー級で
3位入賞の山谷選手(湘南高校)

藤沢会場(江ノ島ヨットハーバー)では、成年男子(470級、シングルハンマー、ボード)と少年男女(FJ級、シーホッパー級SR)の7種目、各5レースが行われました。大会初日(9月12日)からレースは白熱し、特に少年種目はフィニッシュラインがハーバー前の海面(片瀬東浜)に設定されたことで、新設のセントラーナロムナードから多くの方が、目前のレースを応援されました。レース観覧船で海上に出られた方も、ヨットレースの醍醐味を楽しめたと思います。台風接近の中で、最終日(15日)は何と無風でノーレース、奈川は総合優勝を獲得しました。大会終了の翌日は台風でハーバーも封鎖となり、期間中は誠に天候に恵まれた大会でした。

藤沢会場(江ノ島ヨットハーバー)では、成年男子(470級、シングルハンマー、ボード)と少年男女(FJ級、シーホッパー級SR)の7種目、各5レースが行われました。大会初日(9月12日)からレースは白熱し、特に少年種目はフィニッシュラインがハーバー前の海面(片瀬東浜)に設定されたことで、新設のセントラーナロムナードから多くの方が、目前のレースを応援されました。レース観覧船で海上に出られた方も、ヨットレースの醍醐味を楽しめたと思います。台風接近の中で、最終日(15日)は何と無風でノーレース、奈川は総合優勝を獲得しました。大会終了の翌日は台風でハーバーも封鎖となり、期間中は誠に天候に恵まれた大会でした。

心配していた天候も、ゆめ国体を祝うようなスポーツ日和となつた。試合ごと白熱したゲーム展開であり多くの市民の応援がさらに試合を盛り上げてくれた。それとサポートした競技役員、補助員、市民協力員、行政が一体となり運営ができたと確信した。地元開催で、県代表チームが優勝し閉会式に花を添えた。併せ念願であつた天皇杯、皇后杯とも神奈川県が獲得し、総合優勝を勝ち取つた。

今後この盛り上がりを藤沢市スポーツ界にどのように定着発展させていくか、行政とそれぞれ関係する諸団体とが一体となり、21世紀に向けて生涯スポーツの礎になればと考えた。かながわ・ゆめ国体ありがとうございました。

みごと1点
を守り切つた
中野投手

藤沢市野球協会

理事長 青山俊夫



ヤッター! 優勝
(湘南信用金庫)



ヤッター! 優勝
(湘南信用金庫)

理事長 小阪康司
藤沢市ヨット協会

券

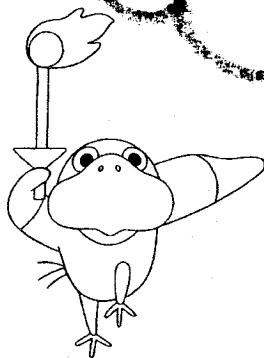
第53回国民体育大会 「かながわ・ゆめ国体」

—地元神奈川は—

冬季から通算の

天皇杯（男女総合優勝）

皇后杯（女子総合優勝）を
獲得しました。



炬火リレーには体協

からも市民協力員として
100名弱参加



「諸・若人の火」は、湘南の海から
会場へ（江ノ島・片瀬海岸）



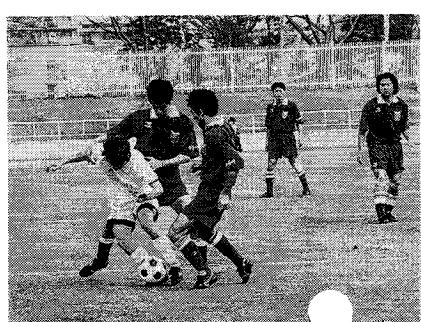
市民の手で、市内をリレー

「生涯スポーツ時代」幕開けの祭典として位置づけ、準備を進めた国民体育大会が、無事終了しました。それぞれの会場で、すばらしい天候に恵まれた青空のもと、熱戦がくりひろげられました。神奈川県勢も、出場した選手一人ひとりが、練習した以上の力を發揮し、自分を讃めることのできる成績を残したことでしょう。

おかげさまで、サッカー競技も、少年男子第五位、成年女子第三位、成年男子は、二十三年ぶりの優勝という健闘を見せ、みごと九年ぶりの総合優勝を果たすことができました。競技運営でも、大勢の方々の協力を得て、開始式から総合表彰式まで無事終えることができました。二千五百名以上の小・中学生の応援もありました。ありがとうございました。

今後は、フットサルの普及にも努力していくつもりです。

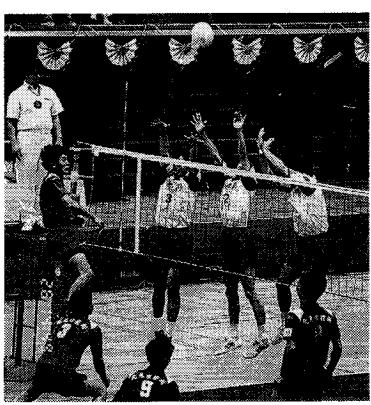
藤沢市サッカー協会
副会長 小野 隆弘



成年男子決勝戦（対埼玉県）
延長 110分の熱戦の末、2チーム優勝

バレーボール協会では「藤沢バレのあゆみ」と題して展示コーナーを秋葉台文化体育館の入口正面に設置し、大正時代の貴重な写真や国体参加を中心とした写真を展示了ところ、大変好評であった。この様な国体の体験を今後の活動に生かしバレーボール協会の発展に寄与したい。

藤沢市バレーボール協会
理事長 川路久男



大健闘 神奈川選抜チーム

平成七年に神奈川国体が決定してから四年の年月が流れ、いよいよ本番が行われた。我々はバレーボール競技を担当し、無事終了した事を内心ほっとしているのが本音である。

藤沢市では少年男子（秋葉台文化



や

～第49回神奈川県総合体育大会～

本市選手団の健闘も及ばず、今年は総合成績4位でした。来年の活躍を期待します。

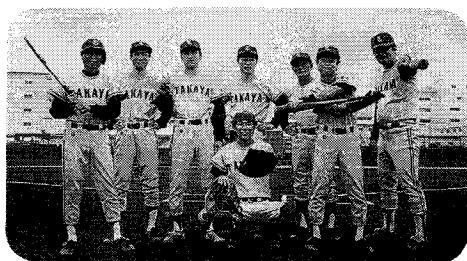
種目	成績	得点	種目	成績	得点
スキー	第4位	34	剣道	2回戦敗退	25.5
ソフトボール	ブロックベスト4	31.5	弓道	1回戦敗退	17.5
水泳	総合19位	19	バトミントン	2回戦敗退	25.5
陸上競技	総合3位	35	青年男バレー	ベスト4	34.5
バレーボール	ブロック優勝	36	青年女バレー	第2位	36
バレーボール	ブロック2位	33	青年バスケット	2回戦敗退	25.5
野球	2回戦敗退	19.5	青年柔道	1回戦敗退	28.5
サッカー	ブロックベスト4	28.5	青年剣道	2回戦敗退	25.5
卓球	ブロック優勝	36.5	青年弓道	1回戦敗退	26
バスケット	1回戦敗退	15.5	青年バドミントン	ベスト4	34.5
柔道	2回戦敗退	25.5			

順位	都市名	得点
1	相模原市	706
2	平塚市	638.5
3	厚木市	611
4	藤沢市	593
5	横須賀市	569
6	茅ヶ崎市	533.5

△総合成績▽

第53回藤沢市民総合体育大会

高谷地区総合優勝!!



お 知 ら せ

第14回 スポーツ人の集い

とき 平成11年2月13日(土) pm6:00～
ところ 藤沢市民会館小ホール

[第一部] 式典

◇この一年間に活躍した選手・団体に贈られる
藤沢スポーツ賞の表彰

[第二部] 講演会

高校女子ソフトボール競技

全国高校選抜・インターハイ・国体と三冠
を勝ち得た名将



利根川 勇氏

(厚木商業高校)
(ソフトボール部監督)

三冠への道のり
一選手とともに――

どなたでも入場できます。多数のご参加を!

バトミントン	ソフトボール	軟式野球	ソフトテニス	卓球	バレーボール
鶴洋	高谷・善行・駒寄	高谷	明治	大庭	羽鳥(総合) 滝の沢(男子) 藤沢(女子)

△種目別成績▽
優勝した地区です

神奈川ゆめ国体も無事終了しました。

今回は、当市で開催の四種目も含めて、国体、市民総体、県総体と盛り沢山の各種行事に協力してまいりました中で、サッカーのワールドカップも行われた内容になりました。体協も国体関連の各段と高まった様に思われます。この機会に、これから高齢化社会に向けて、市民の生涯スポーツ普及につなげるこを考えると、広報手段として、ホームページ活用も考慮する時期に来たようと思われます。

編集委員 小阪・伊沢・今村理事

編集後記